

会計上の見積りの開示をめぐるASBJの対応

川 西 安 喜 CMA

目 次

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 新会計基準の概要 3. 新型コロナウイルス感染症の影響の考え方に
関する議事概要の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 4. 新会計基準に基づく開示と議事概要に基づく
開示の関係 5. 2021年3月期決算の開示に関する所感 6. むすびに代えて |
|--|---|

企業会計基準委員会（ASBJ）が2020年3月に公表した企業会計基準第31号「会計上の見積りに関する会計基準」（新会計基準）と、会計上の見積りを行う上で新型コロナウイルス感染症の影響をどのように考えるのかについて、2020年4月以降、ASBJが公表した議事概要を概観した上で、両者に基づく開示の関係をみていく。また、2021年3月期決算の開示に関する所感を述べる。

1. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2020年3月31日に企業会計基準第31号「会計上の見積りに関する会計基準」（ASBJ [2020a]、以下、新会計基準）を公表した（注1）。この会計基準は1年間の準備期間を考慮し、2021年3月31日以後終了する年度の年度末に係る財務諸表から適用することとしていた（注2）。

しかし、2020年3月期の決算において、会計上の見積りを行う上で新型コロナウイルス感染症の影響をどのように考えるかが議論となったた

め、ASBJは新会計基準の適用日が到来する前の2020年4月に議事概要を公表し、考え方を明らかにすることとした（注3）。

本稿では、新会計基準と、新型コロナウイルス感染症の影響の考え方に関する議事概要を概観した上で、両者に基づく開示の関係についてみていくこととしたい。また、2021年3月期決算の開示に関する所感を述べることとしたい。



川西 安喜 (かわにし やすのぶ)

有限責任 あずさ監査法人パートナー、企業会計基準委員会（ASBJ）副委員長兼会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）議長。2003年よりASBJ研究員。2004年から2016年まで米国財務会計基準審議会（FASB）国際研究員（兼務）。2013年から2016年まで国際会計基準審議会（IASB）客員研究員（兼務）。2016年よりASBJ常勤委員、2019年よりASBJ副委員長兼IFASS議長。